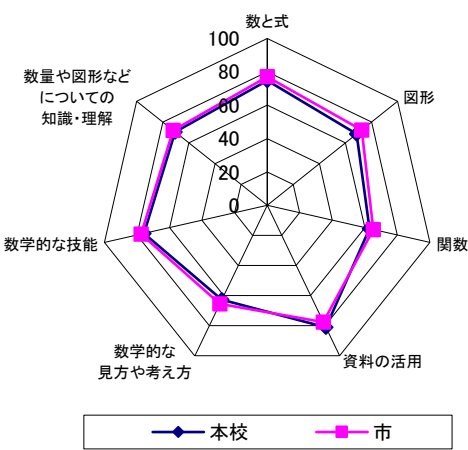


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	74.8	77.1	71.0
	図形	68.6	72.4	59.3
	関数	62.9	65.2	51.0
	資料の活用	81.1	77.6	67.1
観点別	数学的な見方や考え方	62.8	65.5	48.8
	数学的な技能	75.7	77.5	69.8
	数量や図形などについての知識・理解	70.6	72.1	61.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○累乗を含む正負の数の乗法や1次式と数の乗法の計算について、正答率9割を超えており、市平均とほぼ同じである。 ●問題を解決するため、2次方程式を立てる問題について、市平均の正答率を8.1ポイント下回っている。	・基本的な計算問題を継続して行うとともに、繰り返し復習し、理解が深まるよう指導していく。 ・問題を解決するため、2次方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解させ、適切な方法で解決できるよう指導していく。
図形	○角の二等分線を作図することや平面図形や空間図形における基本的な知識の問題の正答率は、市平均の正答率とほぼ同じ程度である。 ●平面図形の対称移動に関する基本的な問題では、市平均の正答率を7.3ポイント下回っている。 ●証明の根拠となる事柄を答える問題では、市平均の正答率を6.1ポイント下回っている。	・コンパス、定規を用いて丁寧な作図をさせ、基本的な図形の性質をきちんと理解させるよう指導していく。 ・図形に関する基礎知識や定理など丁寧に復習し、証明に必要な事柄をみつけさせるよう授業展開を工夫していく。
関数	○文章問題を読み取り、問題文中の関係を表すグラフ選ぶ問題では、市平均の正答率を7.8ポイント上回っている。 ●関数における変化の割合の問題で、市平均の正答率を8.4ポイント下回っている。 ●記述式の説明を答える問題では、市平均の正答率を6.3ポイント下回っている。	・2つの数量の関係から、「式」「表」「グラフ」を関連付けながら、理解を促す指導をしていく。 ・日常生活の中で興味関心が高まるような身近な問題から、関数の値の変化や特徴を理解させ、変化の割合が求められるよう指導していく。 ・自分の考えや根拠をもとに説明できるよう数学の問題場面でも記述できるよう指導していく。
資料の活用	○すべての問題において市平均の正答率を上回っている。特に、度数分布表から階級の相対度数を求める問題では、市平均の正答率を6.5ポイント上回っている。	・資料を整理し活用する問題では、度数分布表などの言葉の意味などについていねいに指導するとともに、興味関心が高まるような身近な問題を取り上げるよう指導していく。